

神戸国際支縁機構(KISO)季刊誌

【発行人】 岩村義雄 <携帯 070-5045-7127>
【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区狩口台5-1-101
Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939
E-mail:kiso@mbe.nifty.com

【石巻支所】阿部 とよ子
〒986-2121 宮城県石巻市渡波町3-5-37
Tel(0225)24-3107
E-mail:cp.abe@roval.ocn.ne.jp

【熊本支部】大島 健二郎
〒862-0939 熊本市東区長嶺南4-4-27
白百合苑103

年4回 2月、5月、8月、11月
購読料 一部320円+送料80円(年額約1,600円)

最初に孤児の施設が誕生するというのです。村中の行事になりました。ダルマスターディだけではなく、近隣からも聴衆200人ほ



両親がいないアイッシュ・カパリ君 (8歳)も通学 TVインタビュー

再建 ネパールの孤児 大喜び

最初に孤児の施設が誕生するというのである。村中の行事になりました。ダルマスター��이だけではなく、近隣からも聴衆200人ほ

校、小中高、幼稚園などすべての教育施設は大地震によって全壊しました。どれひとつまだ復旧、復興再建していません。はじめて教育施設の復興、それも

ナハリ・チルドレン・ホーム）のオープニング・セレモニーに統いて、ダルマス・タディににおける二つ目の開所式に岩村義雄会長は招かれました。日本の全国から寄せられた募金により、建造されました。3年前、2015年4月25日、グラン・アーバン・アーバンの元、高

5人の孤児たちがNNC（Neighbor Circle）、「ネパール・ネーバー・サークル」によって通学できる恵みを地元テレビ局や新聞社はい

どで会場はいっぱいになりました。
地元選出のラトウナ・デヴィ議員、
大学のラジュ・M・ヨシ学長のスピーチ
がありました。ヨシ学長は講演の
途中で、全員に起立を求めます。昨年
10月17日に逝去した「カヨ子基金」の
岩村カヨ子のため、黙祷を捧げる
うに促しました。ダルマス・タディも
「カヨ子基金」により、孤児たちが恩
恵を受けるようになつたことへの謝
意でした。

「子基金」の里親になられた方々、日々本に住む多くの人々の善意がなれば実現していくません。



ダルマスタディの開所式 2017年9月28日

今年の東北の夏は“やませ”で寒い
というような日々でした。1934
年の頃は大凶作でしたが、米作の進
歩で不作にはならないと思われま
す。そして来年の春は、スギ花粉はあ
まり飛散しない事と予想できること
でしよう。春の季節と共に、杉の木の
花粉が悪者にされます。でも終戦後、
荒廃した黒土の復活に、学校で杉苗

えを植え、そして下草刈りをしたのです。学校林と称し、国の山に全校生徒が一日かけて、作業をしました。1980年ごろまで続いた事と思ひます。今杉が成長し、木材として活用できるようになりました。

そして全国的に杉の成長と共に、杉花粉による病気が出てきて問題となっています。山の復活に早く育つ杉を、生徒だった年齢の若者が仕事をしたのに(おくにのため: ですよね)、責任? ただただ淋しい気持ちです。

荒廃した山に咲いた山百合が楽し

まれるようになり、この花が海外に持つていかされました。そしてかの地で更に美しく咲いたのでしょうか。品種改良され、更に麗わしく気品よく咲いた花、これが「カサブランカ」と名付けられ、日本で又更に美しく咲いていま、価格も安くなり、各地各地で花ひらいているのです。

各地で六月には山百合が自然に咲いています。東北三陸道はこの時期みごとに咲きほこります。消える事なく、自然に育つ地区をまもつてほしいのです。いつまでも…。

渡波 佐藤 晴美

卷頭言

株式会社 大塚製薬工場
〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151(代表)

MIYOSHi
ミヨシ石鹼株式会社
〒130-0021
東京都墨田区緑3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ
 **TAKENAKA**

竹中工務店
〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1



第78次東北ボランティア

稻刈り&脱穀

村上 裕隆

た、自然との対話を体験
稻刈りの時、鋸カマ
で刈っていきます。け
がをするかもしれません
せん。もし自分の手を
切つて、血が出てもあ
わてないように、あら
かじめ岩村会長は園
児たちに話します。自
分で痛みを感じたら、
今度は友達や他の人
の血を流すことを行
ないようとに付け加

園児たちの願い、「ぼくたち、わた
一番おいしいおコメをつくる」と、
こもっています。5月24日に、園児
り回つてトロトロ層を作りました。
田植えに「ヒトメボレ」の苗を植え
した。かえる、イナゴ、おたまじやく
生まれてはじめて見た時、こわかつ
達はおっかけ、手につかまえ、はし
た。自然との対話を体験しました。

脱穀も、規模の大きい台風21号が上陸している最中に向かいました。無謀とも思える行動です。幸いにして快晴の中、稲刈り、脱穀も長浜幼稚園(後藤園長)の園児たちは楽しむことができました。

台風が日本列島を直撃する時に、機構は神戸から宮城県石巻市渡波に向かいました。9月18日に台風20号は激しい豪雨で目的地である東北地域にも影響を及ぼしました。稲刈りができる見込みは神戸、および現地

えられました。人の痛みがわかる人間になることについて農作業を通して学んでいきました。現代日本は、家から出て、公園などで友達と一緒に群れる光景が少なくなっていました。放課

石巻かほく
2017年(平成29年)9月20日(水曜日)

『石巒日日新聞』(2017年9月25日付)

脱穀作業を体験 長浜幼稚園の園児

行つら 約はに組 つ根(二酒)

る「社団法人神戸国際支縁機構」(岩村義雄理事長)は24日、渡波字際の田んぼはあぜ道で、石巻市流留の学校法人渡波学園(長浜幼稚園(後藤草記園長))の園児たちと脱穀作業を行つた。

万石浦幼稚園の年長組男女41人が脱穀作業に参加、関係者の手助けにより「ひとめぼれ」約75キロを脱穀した。園児たちは田植えから稲刈り作業まで手伝つた関係で脱穀作業を行つた。

『牡鹿新聞』(2017年10月27日付)

法律相談初回無料。
お気軽にご相談下さい。

〒650-0016 神戸市中央区橋通1-2-14
0120-997-181
TEL 078-351-1325 FAX 078-351-1270



岩村カヨ子を偲ぶ記念会 会場

岩村カヨ子を偲ぶ記念会 会場
も偲びました。
当日、JR朝霧駅とハイエースでピストンし、送迎させていただきましたが、駅前のロータリーが広く、会場に到着できなかつた方たちには本当に申しわけないことをしました。遠路からお越しいただいたにもかかわらず、配慮が行き届かなかつたことをお詫びいたします。親交のあつた松浦博子さん、家正治氏、飯原洋子さん、平澤久紀氏たちのあいさつから会の城田太子、ゆきみ、小丸登喜雄、並川奈美悦も感動しました。謝し、まにど市市宮丸田浩山、丸山清巻長野石子、丸山あらかわ、山田浩悦も感動しました。感謝の心なで、地球を一回りした最初の日本人という

も偲びました。
もつぱいになりました。遠路からもやつてこられました。I・C・Sの教え子たち、岩村カヨ子夫人から育てられた若者たちは国内外のボランティアに羽ばたいてこられました。痛み、苦しみ、怒り、くやしさがある被災者たちに寄り添っています。岩村カヨ子の友宮田綾子姉の逝去昨年9月30日から一年

も続けて欲しました。出席者からもつと場所が集めやすいところに開催するようになつた。毎年10月17日に、記念会開催を村上裕隆が提言しました。中島信光牧師の祈りで閉じました。

岩村カヨ子を偲ぶ記念会

事務局 山本 智也



初めて地球を一回りした日本人

～石巻若宮丸物語①～

阿部 和夫

十一年前の寛政五年（1793）11月27日、

若宮丸は米と材木を積んで石巻から江戸に向けて出帆しました。しかし塙屋崎（現福島県いわき市）沖で嵐に遭遇し、舵を破壊されて自力で船を制御できず漂流という事態になります。その上、浸水で積荷の米が水を漫んで重くなつたので、仕方なくその米の一部を海に捨てることで平常の吃水に戻すことが出来ました。悪いことは重なるもので、巻や大風に襲われます。12月3日には船安定期を保つために帆柱も切り捨てました。船は太平洋を北へ北へと流され、寛政六年（1794）5月10日にアリューシャン列島のアンドレアノフスキーヌ島にたどり着きました。およそ五ヶ月半に及ぶ漂流は、これまで、なんとか生き延びることが出来た。その後、15人は、ロシアの役人によつてオホーツクそしてヤクーツクに連れていかれます。

若宮丸には16人が乗り込んでいましたが、病気のためにロシアで亡くなつた人も居ましたし、自らの意思でロシアに残つた人もいました。帰国することが出来た4人のたどつたコースは、漂流から帰国するまで、地球を一回りしてしまつたのです。本人達は意識しなくとも結果になつたのです。



代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区錦3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp

(株)吉原金属

神戸市北区道場町塩田2082

不動産 売買・賃貸・管理・店舗は

本田商会

〒662-0051 西宮市羽衣町5-23

電話: 0798-38-7560

FAX: 0798-38-7561

お気軽にご相談ください。

(有)吉田興業

神戸市兵庫区湊町1-1

〒655-0049 神戸市垂水区狩口台5-1-101
岩村義雄 & カヨ子 Tel: (078) 782-9697

偲ぶ記念会メッセージ



2017年10月17日

17日(火)午後1時半
神戸市垂水区狩口台5-1-101
地域センターが
いつけになりま
した。遠路からも
やつてこられま
した。I・C・Sの
教え子たち、岩村
カヨ子夫人から育
てられた若者たち
は国内外のボラ
ンティアに羽ばた
いてこられました。痛
み、苦しみ、怒り、く
やしさがある被災
者たちに寄り添つて
います。岩村カヨ子の
友宮田綾子姉の逝去
昨年9月30日から一年

も続けて欲しました。出席者からもつと場所が集めやすいところに開催するようになつた。毎年10月17日に、記念会開催を村上裕隆が提言しました。中島信光牧師の祈りで閉じました。

岩村カヨ子を偲ぶ記念会

本日は、わたくしたち夫婦のために、遠くから、また近くから、またある方は病床において偲ぶために、ありがとうございます。

岩村カヨ子の地上での生涯で、共に笑い、泣き、喜びの会話を交わすことができました「とき」をかみしめ、感謝申しあげます。

1995年1月17日、阪神・淡路大震災から、私たち夫婦は小さなリックをかついで、震災の街をあてもなく歩きました。ただただ涙が出てくるばかりでした。須磨、長田、兵庫の人々に寄り添うだけで、何もできませんでした。

家族、お仕事を失った人々の痛み、苦しみ、怒り、くやしさの支えにはどういなれませんでした。そんな想いでいる方々と共に生きていこうと、夫婦の二人三脚がはじまりました。

カヨ子は、出入りするI・C・S、や若者たちを励ました。国内外のボランティアにかかわるようになったみなさまは孤児、独居の独身女性、難民たちとの支「縁」に向かっておられます。創造者なるお方への思いがそなさせたのでしょう。

夫を支え、弱り果てた人々にいのちを捧げましたカヨ子を引き続い、覚えてください。いつまでも「こころ」で語り合いつづけていただければさいいです。

本日、一年を偲ぶ「日」、ありがとうございます



富沢賢治は1931年11月3日
(3・11の年に「雨ニモマケズ」
を書きました。東北人に共通する
魂のすこみがあります。)

2011年7月に阿部捷一元船
越小学校に案内されて宮城学院女
子大の新免責教授、佐藤金一郎さ
んと牡鹿半島の名振、船越、谷川
などの学校跡を訪ねました。過疎、
高齢化、少子化になつている村に
大地震と津波が襲いました。名振
で「持論ですが教育が進みは進む
ほど過疎が進む」と放つた満照寺
の畠山寅次郎の言葉は重みがあ
りました。若者たちが郷里を捨て
て大都会に住みついでしまうから
です。

賢治は花巻の人々にベートーベ
ンの「田園曲」を聞かせました。「都
会にわざわざ行かなくてもいい
よ、ここでいいんだよ」と言いた
かったのです。神戸国際支縁機構
は「田・山・湾の復活」を旗印に
しました。まるさとを見直す小さ
なお手伝いが始まりました。

北上川の上流に古代米の第一人
者佐藤正弘さんがおられます。12
年に石巻の「田んぼアート」コウ

富沢賢治は1931年11月3日
(3・11の年に「雨ニモマケズ」
を書きました。東北人に共通する
魂のすこみがあります。)

2011年7月に阿部捷一元船
越小学校に案内されて宮城学院女
子大の新免責教授、佐藤金一郎さ
んと牡鹿半島の名振、船越、谷川
などの学校跡を訪ねました。過疎、
高齢化、少子化になつている村に
大地震と津波が襲いました。名振
で「持論ですが教育が進みは進む
ほど過疎が進む」と放つた満照寺
の畠山寅次郎の言葉は重みがあ
りました。若者たちが郷里を捨て
て大都会に住みついでしまうから
です。

賢治は花巻の人々にベートーベ
ンの「田園曲」を聞かせました。「都
会にわざわざ行かなくてもいい
よ、ここでいいんだよ」と言いた
かったのです。神戸国際支縁機構
は「田・山・湾の復活」を旗印に
しました。まるさとを見直す小さ
なお手伝いが始まりました。

北上川の上流に古代米の第一人
者佐藤正弘さんがおられます。12
年に石巻の「田んぼアート」コウ

つづじ野

田・山・湾の復活

『石巻かほく』つづじ野 第6回 (2017年10月30日付)

東北が生んだ偉大な器に宮
がいます。賢治は「災害」に
ついて本を書いていました。
生まれた年は1896年です。
生まれた年に「Tsunami 津波」
が世界共通語として定着す
るきっかけになった「明治
三陸大津波」がありました。
でも津波の犠牲者の最高数
です。日本で「三陸」として知
られるようになつたのもこ
の時以降です。賢治が死んだ
年、1933年に「昭和三陸大
津波」がありました。賢治の
生涯は災害の年に始まり、災

害の年に亡くなりました。賢治
が3・11の時、生きていたらど
んな行動をとつたでしょうか。
「一人づつぶつつかつて火のつ
いたやうにはげまして行け」(宮
澤賢治『春と修羅 第三集』)と
記しています。徒党を組んだり、ボ
ランティアが全国からやってき
たら、みんながやるから
自分も行動を起こすタイプでは
ありませんでした。ですから、ボ
ランティアが全国からやってき
たら、ゼッケンを付けさせ、9時
から5時まで画一的にどこどこ
にと割り振るような「官」の発想
や、被災現場の地理をよく知ら
ない自衛隊、メルトダウンを起
こした原発に対し、「一人」で考
えます。ちがいないと考

救援金、維持会費ご協力を感謝します。

(敬称略)

2017年7月23日～10月21日

神戸国際キリスト教会、徐桂英、坂上順子、尾島淳義、岩村義雄、古川和子、古川直子、
酒井彰、酒井久美子、山下妙子、大江良一(2)、坂井良行(高野山真言宗西方院)、さかいようこ、
甲斐田敏、観音寺(三鷹市)、宮坂信章、有川純子、村上タカ、水沼幸三、崔勝久、春重祺子、
川崎栄子、東垂水ルーテル教会(2)、五百井正浩(真宗大谷派玉龍寺)、石川満澄、石川久子、
「小さくされた人々のための福音」講座(2)、西上千栄子、安田吉三郎(2)、柴田珠江、石黒正義、
本田寿久(2)、野崎和子、神戸朝鮮高級学校、計敬、庄司慈明(宮城県石巻)、
沖縄バプテスト連盟ルア教会(2)、小笠原貞夫、保田茂、藤丸秀淨(法事寺)、菅原よ志子、
株式会社月堂、川端勝、三木晴雄、廣森勝久、柴田正生、大田正紀、新井眞由美、
木村襲治(宮城県石巻市)、KISO牧場、中山敬一郎、阿部純子、ホームチャペルキリストの花嫁、
川井浩三、川井拓、ブライティ・オアン、高木保、杉浦征子、袴田康裕、中田美子、山本稔、
イエス・キリスト聖成伝道教会、河内常男 計720,471円
フードバンク関西、耕支縁(岸本豊、山本勝、上原俊基)から炊き出し用の野菜、杉浦征子からの
さつまいも、じゃがいもなど。森岡忠義からたくさんの柿、九州北部豪雨のため、広島の小島美美子(第21、24、31、35、38次)、山本政澄&喜恵夫妻から支援物資を宮島サービスエリヤで受
け取る。垂水朝祷会、東垂水ルーテル教会から支縁物資、(株)チュチュアンナの上田利昭社長から、海外の孤児のための靴下100足などを受領。

「カヨ子基金」

2017年7月23日～10月21日

西崎京子、犬童幸二、坂本好也、新免貢、宮坂信章(2)、今井祝雄、樋口進、永野真治、
東灘バプテスト教会、千葉幸一(宮城県石巻市)(2)、兵頭晴喜、藤原りつ子(朝霧病院)、
竹内喜子、大島修、大島敏子、北村恭男、ゲーベルひでの、山田慎一郎、上野登志子、
徐桂英、尾島淳義、坂井良行(高野山真言宗西方院住職)、飯原洋子、山下妙子、権英富、
崔勝久、春重祺子、川崎栄子、石川満澄、石川久子、五百井正浩(真宗大谷派玉龍寺住職)、
坂牧弓絃、大田美智子、横山豊宥(無障金剛院住職)、「小さくされた人々のための福音」講座、
庄司慈明(宮城県石巻)、小笠原貞夫、野崎和子、石黒正義、坂上順子、
沖縄バプテスト連盟ルア教会、三木晴雄、廣森勝久、木村襲治(宮城県石巻市)、大田正紀、
岩下喜恵子、小菅あゆみ、西岡本キリスト教会、新井眞由美、KISO牧場、中山敬一郎、
杉浦征子、川井浩三、川井拓、大嶋善直、渋木洋一、渋木孝江、丹野清 現在2,314,820円

編集後記

九州北部豪雨が起きた2017年7月5日、翌日、機構は神戸の炊き出しを終えて、食材を購入し、福岡県朝倉市柏木に向かいました。7日～9日、柏木中学校の体育館で200名近くの人々に炊き出しをさせていただきました。避難してきた方たちの多くは松木の人々でした。孤立した集落になり、地元の消防団以外は、自衛隊、メディア関係者、朝倉市役所も入ることができませんでした。270戸のすべてが被害を受けていました。

日本の原風景 棚田の農業、林業で幾世紀にもわたり、生きてきた人たちの生活は完全に終止符が打たれました。第六次産業として、「松木そば」などでなりわいが支えられるため皆さまの応援をお願いします。

村上 裕隆